



明けましておめでとうございます！

2025年がスタートしました！今年は何年（みどし）です。巳（み・へび）は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされ、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられているそうです。今年が、皆さんにとって大きく成長していく一年になるよう願っています。そのためにも、事件や事故にあうことなく、災害などが無い穏やかな一年になるように祈りたいと思います。

僕は、僕の草原で風にむかって立つライオンでありたい！

皆さんは、「風に立つライオン」という曲を知っていますか？この曲は、かの有名な歌手のさだまさしさんが作詞作曲したものです。この曲の歌詞には、さだまさしさんが敬愛する医師で、遠く離れたアフリカのケニアという国へ単身で行き、現地医療に従事した柴田先生の想いがそのまま表現されています。映画化もされました。そして、この曲の歌詞が、あかつき社という教科書会社が作っている道徳の教科書に取り上げられています。

先月、大阪府の中学校道徳教育研究大会に参加し、この「風に立つライオン」という教材を使って、ある中学校の3年生が授業を受けている様子を見る機会がありました。皆で、アフリカの大自然の中、現地で活躍している柴田医師の様子を伝える動画を、「風に立つライオン」の曲を聴きながら観ました。とても感動的な映像と、心に訴えかけてくる歌詞と曲に、私も心が揺さぶられました。歌詞の一部を紹介します。

診療所に集まる人々は病気だけれど
少なくとも心は僕より健康なのですよ

僕はやはり来てよかったと思っています
辛くないと言えば嘘になるけれど
しあわせです



空を切り裂いて落下する滝のように
僕はよどみない生命を生きたい
キリマンジャロの白い雪 それを支える紺碧の空
僕は風に向かって立つライオンでありたい

授業者の先生は、医師の活躍を動画で紹介した後に、3年生の皆さんと、この柴田医師の生き方について話し合う授業をされました。そして、15年の歳月をかけて、この曲を作った歌手のさだまさしさんが、尊敬し愛する柴田医師への想いを歌にした時に、彼もまた「僕は、僕の草原で風に向かって立つライオンでありたい！」と語っていることを紹介してくれました。授業の最後に、風に向かって立つライオンの生き方とは、あなたにとってどんな生き方だと思いますか？と問いかけ、授業を受けた3年生の生徒一人一人が考えを発表してくれました。その一部を紹介します。

- ◆夢に向き合い実現するために努力する生き方
- ◆理想に向かって突き進む生き方
- ◆困難を乗り越えていく生き方
- ◆誇りを持って進む生き方
- ◆強い意志を持ち続ける生き方
- ◆意志を貫いて突き進む生き方
- ◆何事にも逃げずに挑戦していく生き方
- ◆生かされていることに感謝できる生き方
- ◆生きることの素晴らしさを実感できる生き方
- ◆人に対して優しく思いやりを持てる生き方
- ◆困っている人に対して手を差し伸べられる生き方
- ◆自分だけでなく周りとともに幸せになれる生き方
- ◆自分ができることで、社会貢献できる生き方



皆さんは、どんな生き方をしたいと思いますか。これからの自身の生き方について、この機会に考えてみてほしいと願っています。

2024 幼小中合同作品展に参加しました！

田尻町立学校園一貫教育の取り組み行事として、毎年12月に合同作品展を開催しています。今年度は、12月12日（木）に開催しました。田尻中学校の全学年の作品と美術部の作品が展示されました。当日は、1年生の皆さんが鑑賞に行きました。エンゼルや小学校の子どもたちから、田尻中学校の作品を見て、「すごい！」という声がたくさん聞かれました。写真は、田尻中1年生がエンゼルの作品を鑑賞しているところです。



ハラスメント防止に取り組みます！

学校におけるハラスメント行為（セクシャルハラスメント、パワーハラスメント等）の防止に向けて、田尻町立中学校では、「ハラスメント防止等に関する指針」に基づき対応しています。生徒のみ皆さんの相談窓口は、保健室の先生と教頭先生になっていますので、ハラスメントを受けたり見たりした場合は相談してください。カウンセラーの先生にも相談できます。相談していることは秘密にされますので、安心して声をかけてください。保護者の皆様は、学級担任や学年の先生、校長及び教頭までご相談ください。楽しく安心して通える学校づくりに取り組んでまいります。

（校長 池本 勝利）



今後の予定

1/17(金)	【1・2年生】英語検定受験
1/24(金)	【1年生】思春期ふれあい学習(5・6限) 【6年生保護者対象】入学説明会(15時 ふれ愛C)
1/26(日)	【6年生保護者】制服採寸(10～16時 公民館)
1/29(水)	【3年生】学年末テスト〔～31(金)〕
2/10(月)	【3年生】大阪府私立高校入試〔～11(火)〕
2/20(木)	【3年生】公立特別選抜
2/26(水)	【1・2年生】学年末テスト〔～28(金)〕 【3年生】学力診断テスト
3/12(水)	【3年生】公立一般選抜
3/14(金)	【3年生】卒業証書授与式
3/18(火)	【1・2年生】期末三者懇談会〔～21(金)〕
3/24(月)	【1・2年生】修了式

始業式にて

2025年が始まりました。令和に入ってもう7年目に突入しました。そう考えると早いものです。年齢を重ねていくと特に早く感じるとよく聞きますが、時の流れを早く感じるのはなぜなのかを少し考えてみました。

第一に挙げられるのは、安定した生活を送っているから。安心して過ごせる生活手段(仕事・収入・家庭での関係など)が整っていることはとても大切です。安定しているからこそ、落ち着いて過ごす事ができるのだと思います。

第二に挙げられるのは、充実した時間を過ごしているから。仕事や学業・休日の活動など、自分が没頭できる職業や趣味・生きがいとなる活動ができていること、集中して取り組む時間を持っていることが要因だと思います。

生徒の学校生活の様子を見ていると、安定した生活を送っている生徒が多いように感じられます。また、放課後・休日の部活動や外部

の活動にもほとんどの生徒が熱中して取り組んでいる様子が見受けられます。ときには、学習のことや友人関係で悩んだり、自分の目標に行き詰まって苦しむことだってあると思いますが、周りの誰かに相談するなどして、それにもきちんと向き合って考え抜くことができれば充実した時間になるはずです。

こうした、平和で安定した生活があるからこそ、私たちは、時の流れを早く感じるのではないのでしょうか。今の平和で安心した暮らしができることに対して、私たちはそれを「当たり前」だとは思わないことが大切です。改めて幸せな生活を実感すること、それに感謝すること、そしてこの生活を支えるために行動することが大切だと思います。

9日の始業式では、校長先生から「幸せは自分たちで築いていくものだ」というお話がありました。そのを受けて、私は生徒の皆さんに「感謝していること」について話しました。

2学期のある日、町の企画で住民の方が田尻を清掃する取り組みを実施している最中に、学校に向かう(または帰る)途中のある生徒から「きれいにしていただきありがとうございます。」という御礼の言葉をかけられたそうです。この言葉にとっても感動したその方は、町教育委員会の方を通じて私まで感謝の気持ちを伝えてくださったのです。それを聞いてとても嬉しかったです。

また、年末には一生懸命になって教室や体育館、そしてトイレをきれいに大掃除してくれた生徒がいました。年が明けると、運動場にたまった木の枝や落ち葉をきれいに掃除してくれた生徒もいました。そして始業式のためにステージに演題を準備してくれた生徒もいました。ありがとうございます。

3学期は次の学年や新たなステップに向けて準備の時期です。皆さんには、自分の役割や課題に真剣に取り組むとともに、少し自分の周囲にも視野を広げ、気づいた自分への支えには感謝の言葉をかけられる人になってほしいです。できれば一緒に行動できる人にもなってほしいです。

生徒たちには、今の生活が多くの人の気付きや支えて成り立っていることにあらためて気づいてほしいと思います。そのためには、大人の私たちがそれを感じ、伝えていく事も大切だと感じます。

私たちが毎日食するものは、誰かの手によって栽培され、運ばれ、調理されて届きます。着るものだって、学習用品だって、スマホだって…。お金を出したからって、決して当たり前にはそろうものではないと思います。

他者や他国との関係が不安定になれば、たちまち経済や政治などに影響が出てきます。輸出ができなければ輸入もできません。エネルギー資源の乏しい日本はたちまち孤立することだって、過去にありました…。



食事の支度や洗濯など、身の回りのサポートをしてくれる家族。登下校の際、みんなの安全を確認して町内の各地で見守って下さるボランティアの方々。毎日の光景の中で「当たり前」に見えるものでも、それぞれ思いのこもった行動ばかりなのです。

改めて、自分を支える存在に目を向けてみましょう。そうすれば、自分だって「何かの支えになりたい」と思ってくるかもしれません。

支えに気付き、感謝し、行動する。そうすることで幸せは自分たちで築いていく事になるのだと思います。



(教頭 横井武志)